日本歯科大学新潟病院・医科病院と患者さんをむすぶ

日本歯科大学（新潟病院 医科病院）アイヴィ通信

Vol.27
2015.4.1

～皆様の口腔と全身の健康を目指して～

患者さまに信頼される看護師を目指します

新潟病院看護科
看護師長
小林　裕子

こんにちは、看護師長の小林です。今回は、新潟病院の看護科をご紹介させていただきます。

看護師はたくましくも心優しい男性1名を含む19名と看護助手2名が、歯科病棟、中央手術室、地域歯科医療支援室に配属されています。ベテラン看護師が多くいますが、経験だけに頼らず新たな学びを得て、高度医療を提供する大学病院の役割として、看護師の質の高い看護の提供のため日々努力しております。看護科は、笑顔と思いやりの心で、患者さまとそのご家族さまに信頼される看護師を目指し、患者さま一人ひとりに合った看護で、快適な入院生活を送れる看護を心がけています。

不安を抱えての入院から手術までの患者さまには、担当の手術室看護師が直接患者さまのベッドまで訪問し、ご挨拶させていただいています。また、地域歯科医療支援室看護師は、治療を終えて退院するときに、患者さまやご家族さまが不安なくお帰りいただけるように、そして安心して生活していけるようにサポートさせていただきます。

私たち看護師は、患者さまとご家族さまの笑顔のために寄り添い、一層の厚い信頼をいただけるように、努力してまいります。退院後に声をかけていただけることは、大きな喜びです。いつでも相談していただける存在でありたいと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

口腔衛生に関する基礎知識 Part 4
洗口液などの口腔衛生用品について

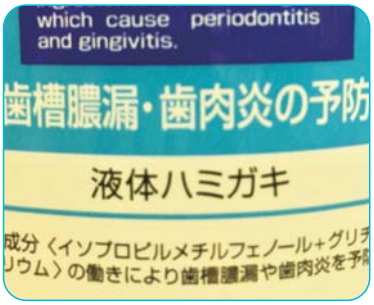
●新潟病院総合診療科2
石井　瑞樹

これまで、むし歯や歯周病予防を目的とした効果的なブラッシング方法やフッ素を中心に解説してきました。日頃のお口のケアに歯磨きは欠かせませんが、歯磨き以外でケアに補助的に用いる方法の一つに、洗口液の使用があります。実践されている方も多いと思いますが、正しい認識をもってご購入・ご使用されているでしょうか?

◆1.洗口液とは???

市場では、「マウスウォッシュ」、「デンタルウォッシュ」、「デンタルリンス」などと呼ばれる液体剤型の口腔衛生用品が販売されています。これらに対して、どうやって使うか、どんな効果があるのか、どれも似たような呼び方でわかりにくい、などの疑問や判然としないイメージをお持ちの方は多いでしょう。

JDMA(日本歯磨工業会)によれば、液体剤型のものは、『洗口液』と『液体ハミガキ』とに分類されています。使い方は、どちらも液体なので口の中に入れてブクブクうがいをしてから吐き出しますが、洗口液はそれっきり、液体ハミガキはその後通常のブラッシングを行うものであり、両者はまったくの別物です。



(※一般的には、これらをまとめて「洗口液、または洗口剤」と呼ぶことがありますが、ここでは、洗口液と液体ハミガキと分けて話をさせていただきます。)

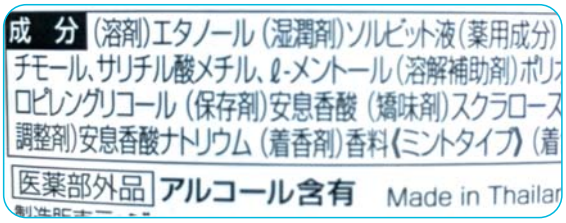
洗口液と液体ハミガキとでは当然用途が異なりますので、ご購入時には商品表示などをよく確認してお間違いのないようにしてください。

◆2.洗口液の特徴と効果

洗口液による基本的な効果は、『お口の中の浄化』、『爽快感が得られる』、『口臭を抑える』ことですが、薬事法上「医薬部外品」扱いの洗口液には口臭や歯周病予防のための薬用成分が配

合され、その効能が期待できます。また、お口の乾きやすい方（ドライマウスの方）向けの保湿やお口の中の粘膜を保護する成分を含むものもあります。

しかし、注意しなければならないことは、十分なブラッシングの代用にはならないということです。通常のブラッシングと洗口液によるうがいを併用するのは効果的ですが、あくまで口臭防止（エチケット）や病気予防の補助として用いるものであり、歯にくっついた汚れや歯垢を取り除くためには、やはりブラッシングが必要不可欠です。洗口液の使用だけで口臭や歯周病が簡単に予防できるわけではなく、正しい認識を持って使用するようにしてください。

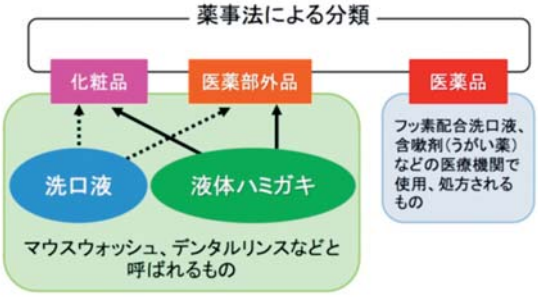


ちなみに、フッ素配合の洗口液は医療用医薬品であり、薬局などでは販売されておりません。むし歯予防の場合は、病院や歯科診療所でのフッ素洗口をお勧めします。

◆3.液体ハミガキの特徴と効果

液体ハミガキは、ペースト状の歯磨き剤（練り歯磨き）のように研磨剤という成分が含まれていないので、歯が傷つきにくいという利点があります。液体ハミガキの場合も薬用成分を含む「医薬部外品」が多くあり、液体なので成分がお口のすみずみまで浸透しやすく、口臭や歯周病などの予防に効果を発揮します。

しかし、歯の汚れや着色が気になる方や、主にむし歯予防が目的で歯磨き剤を使用されたい方は、ペースト状の歯磨き剤のほうが適しているといえます。



●液体剤型の口腔衛生用品

◆4.その他

洗口液や液体ハミガキにはアルコール（エタノール）が含まれているものがあります。これは様々な成分を溶かして液状にするためですが、アルコールの持つ刺激性や日常的な危険性を低減したノンアルコールのものも市販されています。これらについても、商品表示などに注意しながら適切な選択をして使用することが重要といえます。

誤った使い方をしないように、商品表示をチェックして基本的な分類や使用法について必ず確認するように心がけましょう。

インタビュアー：歯科衛生士 澤田 佳世

INTERVIEW －インタビュー－

●病院内には様々な職種の人が働いています。その中でも特殊な業務をされている職員がいて、患者様が安心して診療を受けられるよう後ろから支えています。この企画ではそんな方々に焦点を当てて取材し、皆様に新潟病院を広く知ってもらおうと思います。

●今回は矯正歯科所属の顎口腔機能診断のための**専従歯科衛生士の榎佳美**さんを取材しました。

澤田：榎さんは矯正歯科に配属されて何年になりますか。
榎：もう10年になりますね。

澤田：榎さんは顎口腔機能診断のための専従歯科衛生士とお伺いしましたがどの様なお仕事をされているのか、簡単に紹介してもらってもよろしいですか。
榎：外科的矯正治療を行う患者様の手術前後の口腔のケアや顎機能検査を行っています。顎機能検査では噛むための筋肉を筋電図で調べたり、顎の動きをコンピューター上に再現したりすることによって、患者様ごとの治療計画を担当医と考えていきます。

澤田：外科的矯正治療とはどの様な患者様が対象となるのでしょうか。
榎：主に顎変形症と診断された患者様が対象になっています。歯を移動させる歯科矯正治療と、顎の骨自体の形を整える手術を合わせて治療を行います。私は歯科衛生士として手術前後の口腔内トラブルを防ぐための口腔ケアを担当します。安心して歯科矯正治療、手術を受けて頂けるように患者様の気持ちに寄り添いながら接しています。また、患者様の治療がスムーズに行くように特殊な手術器具を準備したり、手術までの日程をコーディネートしたりするのも私の大切な仕事です。

澤田：顎変形症は医療保険の適応なのですね。
榎：歯列、咬み合わせ、顎の骨が大幅に変形している顎変形症と診断された方は保険適応です。

澤田：顎変形症に限らず、矯正歯科の受診を考えている方にひとことお願いします。
榎：咬み合わせや顎の変形などで普段辛い思いをしている方が、歯科矯正や手術をしてやって良かった、と言ってもらうと私もすごくうれしく思っています。しかし、歯科矯正治療は治療期間が長かったり、治療中には辛いこともあるのでしっかりした治療の意欲がないと大変苦労します。自分の意志でしっかり考えてから治療をしてほしいと思います。私たちは患者様が納得できるまで検査結果や治療方針を説明し、治療中も悩みなどをじっくりと聞けるように心がけています。

澤田：これからも患者様の支えになる素敵な歯科衛生士でいてください。

病院で働く人々

第16回 hospital specialist

「小児歯科」の 北澤 裕美 です。

みなさんは歴史上でも歯に関する話が出てくることをご存知ですか?昔も今も歯で悩んでいる人はいます。そこで今回は歴史上の人物と歯に関するエピソードをいくつか御紹介したいと思います。

歯周病や歯痛で苦しんだ歴史上の人物として小林一茶や親鸞聖人が知られています。江戸時代の俳人、小林一茶は歯周病のために50代で歯が全て抜け落ちたようで、「すりこ木のやうな歯茎も花の春」「かくれ家や歯のない口で福は内」等の句を残しています。

また、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は歯周病が原因で抜けたと思われる御歯が善光寺の宿坊「堂照坊」に安置されています。住職の究阿坊が後年、京に戻った親鸞を訪ね、抜け落ちた歯を形見にもらってきたとされ、その際、親鸞は「いつのまにかみに霜おきひとは落ち身にしみてこそ南無阿弥陀仏」との歌を贈ったといいます。

新選組二番隊長・永倉新八は、池田屋騒動や鳥羽伏見の戦、そして戊辰戦争を戦い抜き大正時代まで生きた数少ない隊士でした。そんな彼も、歯痛を起こし抜歯後、髄膜炎に罹患し、最後は敗血症を併発し亡くなりました。このように歴史上の偉人達でも歯で苦労している方は多いようですが、私たちはなるべく歯で苦労はしたくないものです。

数年前から8020運動という、80歳まで20本の歯を維持しようという運動が、歯科界の中で広がっており、8020達成者は38.3%(平成23年度歯科疾患実態調査より)で平成17年度の調査(24.1%)より14ポイント以上増加しました。また、近年むし歯が少なくなったといわれていますが、新潟県では12歳児一人平均むし歯数は0.55本(全国平均1.05本/平成25年学校保健統計調査より)で、14年連続むし歯が最も少ない県となっています。しかし、実状では低年齢で重度のむし歯になってしまったり、若年者でも重度の歯周病になってしまうケースも少なくありません。口の機能には、「食べる」「話す」「呼吸」「表情の表出」などがあります。口の中にむし歯や歯周病、歯列不正などの問題がある場合、成長発育過程にある小児時代に適切な対応を受ける、もしくは将来問題になることを未然に防ぐことが大切です。

最後になりましたが、8020運動を達成するためには子どもの時期から自分のお口の中に関心を持ち、自分で管理する習慣を身につけることが重要です。そして、歯の健康を個人個人が自分で守ることができるように、お手伝いをするのが小児歯科医です。今後も子どもの口の健全な成長をサポートできるよう努めてまいりたいと思います。

ロビーコンサートを開催しました

平成26年12月18日(木)、当院1階ロビーにて、初めてのロビーコンサートを開催しました。入院中の患者様やご家族、外来患者様、病院職員など約70名近くの方がご来場されました。

演奏者は、本学を卒業された歯科医師の桑原秀也先生をお迎えし計7曲を電子ピアノで演奏していただきました。素敵な音色で心を癒され楽しいひとときを過ごすことができました。最後はアンコールで「お正月」をジャズ風にアレンジし演奏してくださいました。

ご来場された皆様から、「とても良かった。また開催してほしい。」と好評をいただきました。患者様やご家族、地域の皆様の心のやすらぎ、癒しを目的に定期的に開催していく予定です。

演奏してくださった桑原先生、ご来場くださいました皆様、どうもありがとうございました。

(地域歯科医療支援室 看護師　神田 明)

第1回新潟病院・医科病院 ロビーコンサート

平成26年12月18日(木)16:00

〈演　目〉

1. きよしこの夜
2. 赤鼻のトナカイ
3. サンタが街にやってきた
4. ジングルベル
5. 砂山
6. 星に願いを
7. 愛の賛歌

演奏者紹介

桑原 秀也(歯科医師)
昭和34年生まれ
日本歯科大学 新潟生命歯学部卒
現在、新潟市東区にて開業

編集後記

■春は出会いと別れの季節ですね。センチメンタルなような、ワクワクするような。

今回の新企画は「INTERVIEW」です。病院内の縁の下の力持ちに同職種の方にインタビューをしました。今回は歯科衛生士にクローズアップして対談しましたが、同じ職種でも行っている仕事内容はまったく異なることがわかり、面白い話が聞けました。

今年度もアイヴィ通信は年間4回の発行を予定しております。今後もよろしくご愛読頂ければ幸いです。

日本歯科大学新潟病院・医科病院
アイヴィ通信
Vol.27 2015.4.1
発行日／平成27年4月1日　発行人／山口 晃　五十嵐文雄
〒951-8580　新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
TEL 025-267-1500(代)　FAX 025-267-1546(支援室直通)